

## <I. 追加書類が求められるため注意が必要なケース >

### トルコ、イラン、パキスタンの長期滞在履歴がある場合

- 渡航歴を説明するレター、履歴の説明を求められる可能性があります（センター判断）
- \* 履歴についてイランやパキスタン等 E-VISA を使用して渡航した場合はそのコピー提出も必要です
  - \* 質問書のトルコ・パキスタン・イラン渡航歴を記載するページを漏れなく記入して下さい

### 申請に使用するパスポートに下記に該当する破損や劣化、出入国と関係ない記録がみられる場合

- 水で濡れた跡、大量のホチキス跡、傷、しわ、汚れ、歪み、折れ（※表紙/背面含む）  
 またはパスポートに出入国と関係ない記載、記録、履歴（例：記念スタンプ・手書き数字/文字/線）がある
- 誓約書（責任声明）：指定フォーム/記入例あり (I-1)
- (注) パスポートの状態が悪い場合は誓約書が有っても提出できない可能性があります

### 申請時に有効なビザが残っている場合

- 理由書：ひな形/記入例あり (I-2)
- \* 出発までに有効期限が切れる場合でも申請時で有効なビザがあれば理由書は必要です。
  - 業務目的の場合、招聘状の出発日を必ずビザの有効期限より後に設定してください。

### 中国滞在中に現地取得した「停留」または「延長」シールがパスポートに貼られている場合

- ビザに関する理由書：ひな形/記入例あり (I-3)
- \* 上記に関してその取得理由を明記した理由書の提出が必要

### 現在の職業がメディア関係（テレビ局員、カメラマン、報道に関係する職業を含む）や宗教関係者の場合：

- 誓約書：ひな形/記入例あり (I-4)
- ・ 査証取得目的が現職と関係ない場合、今回の渡航が職業/職種に関わる内容は一切行わない旨の誓約書原本が必要
  - \* 報道(J)ビザを申請するメディア関係者はこちらの誓約書は提出不要です。

### 申請者が日本と中国以外で生まれた場合

- 出生国のパスポート取得歴有無の証明が必要です：
- > 取得歴がある場合 = その国の取得したパスポート原本を提出
  - > 取得歴がない場合 = 取得歴がないことを説明するレターを提出 **ひな形/記入例あり (I-5A)**
  - > 取得歴があるがパスポートを紛失した場合 = 紛失したことを説明するレターを提出 **ひな形/記入例あり (I-5B)**
- 最後の日本出入国スタンプのあるパスポート原本とそのコピーに渡航先名を記入する。もし自動化ゲートを使用してスタンプが無い場合は、スタンプが無い理由書（自由書式/原本）に渡航期間と渡航先を記入すること。

### 18歳未満の場合

- 申請用内容に応じた同意書：(注) 両親と同時申請する場合、下記3点はいずれも不要です
- ・ 両親が同行しない場合 ⇒ 「両親からの渡航同意書」 **ひな形/記入例あり (I-6)**
  - ・ 片親のみが同行する場合 ⇒ 「もう一人の親からの渡航同意書」 **ひな形/記入例あり (I-7A)**
  - ・ Q または S ビザを両親と同時に申請しない場合 ⇒ 「両親と同時申請しない渡航同意書」 **ひな形/記入例あり (I-7B)**
- 戸籍謄本(原本)
- ・ 申請者本人と両親の関係が証明できるもの (\* 「除籍」扱いになっていないこと)
  - ・ 3ヶ月以内に発行されたもの
- 両親のパスポートデータ面コピー
- \* パスポートが無い場合は免許証の両面コピーに直筆で署名したものを提出
  - \* マイナンバーカード両面コピーを提出する場合はコピーに直筆で署名。
  - さらにマイナンバーカードコピーしか出せない理由書の原本が必要(自由書式)

**\* 申請者の内容によってビザセンター/領事判断でさらに追加書類が求められる場合があります。**